

～酪農家の皆様へ～ 水引後の乳房炎対策について

大雨により牛舎が浸水した場合には、水が引いた後の乳房炎に注意してください。

- 流れ込んだ泥水には、たくさんの細菌が混ざっています。
- 周囲の湿度は高く、細菌が増えやすい環境になっています。
- 牛はいつもよりストレスがかかっている状態にあります。



乳房炎になりやすい環境です。

対策

- 1 畜舎に侵入した土砂、漂流物を取り除いてから、洗浄しましょう。
その後、別紙の「水引後の衛生対策」を参考に畜舎消毒をしてください。
- 2 いつも以上に徹底した搾乳衛生を心がけましょう。
 - ・ 牛床の乾燥
 - ・ 牛の体が水に浸かってしまった場合には、できれば全身を、少なくとも乳房だけはきれいに洗浄・清拭し乾燥させましょう。
 - ・ ディッピングもしっかり行いましょう。
 - ・ 治療が必要な場合は、獣医師の指示に従い、抗生物質を使用した場合は、休薬期間を守り、抗生物質の残留に十分注意しましょう。
- 3 一度濡れてしまった飼料は、見た目は普段とおりでも給与せず、思い切って処分しましょう。
- 4 浸水にあった牛は、なるべく配合飼料を控え、牛の状態をよく観察しながら粗飼料を中心に給与してください。

☆ 少しでも早く、牛を元のきれいな環境に戻して、乳房炎発生防止に努めましょう！

☆乳房炎が認められた場合は、直ぐに、かかりつけの獣医師又は最寄りの家畜保健衛生所へ連絡・相談してください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間・休日)
090-7205-0895

県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間・休日)
090-7205-1402

県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間・休日)
090-7205-1826